

新緑の季節を迎えて

浪江町長 馬場 有

山頂に残雪いだく安達太良連峰が、青空の下クツキ
りと勇姿を見せる季節となりました。

別れの3月から4月の新たな出逢いが始まり、悲喜
こもこもの時が刻まれております。

去る3月23日、平成24年度浪江町中学卒業の集いが
開催され、避難先から96名の卒業生が再会しました。
会場に入った瞬間、あの生徒たちの背中が1回りも2
回りも大きく成長していたことに驚くと同時に、久方
ぶりの再会に話が弾み至福の時間を享受する顔を拝見
し、大変頼もしく喜ばしく感動しました。

また、3校の中学卒業生代表の「お礼の言葉」には、
それぞれ苦難を乗り越え、明日に向かって頑張ってい
る様子が表現され「これぞ次世代を担う青少年」の思
いを強くし安心しました。彼等には「夢と希望を持っ
て前進するよう」メールを送り、将来の幸運を祈念し
ました。

さて、町は4月1日、2年振りに警戒区域と計画的

避難区域の見直しがされましたが、避難指示が解除さ
れたわけではなく、依然難儀な避難が強いられておる
状況です。町の復旧もマイナスからの出発であり、ゼ
ロに戻すためにこれからの1年間は正念場と考えます。

町外で集まって暮らす「町外コミュニティ」の協議を
急ぎ復興公営住宅の早期整備と同時に町内の復興拠点
(低線量下での)でも復興公営住宅をはじめ「町内コ
ミュニティ」の再構築のため具体的土台づくりに着手
します。

また、生活再建ができるまで継続的な賠償の実現を
図り、どこに住んでも浪江町民として支援し、絆
を強化します。

世間は、ゴールデン・ウィーク。町民の皆さまには、
心晴れない日が続く中「ウキウキ」した気分になれな
いと存じますが、新緑の下で、リフレッシュすること
も大切だと思えます。ひと時の心の癒しができますよ
う、念願します。